

事業者向け

児童発達支援自己評価

記入年月日:令和8年2月25日

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・体制整備	1	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令基準は満たしています。こどもの発達に合わせ、グループ活動で人数に差をつけスペースにあった人数を配置している。
	2	職員の配置数は適切であるか	○		基準以上の職員の配置をし、こどもの特性や場面に応じた対応ができるようにしています。
	3	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障がいの特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		各クラス、子どもの動線に配慮して環境設定をしています。こどもたちがわかりやすいよう視覚的な表示をするなどの工夫もしています。
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日室内消毒を実施しています。また、随時換気を行い室温・湿度の管理をしています。お子さんの状況や活動に合わせて環境設定を変えています。活動に合わせてホールや園庭を使用しています。
業務改善	5	業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	○		毎日の朝礼、終礼、定期的な職員会議等の実施をしています。また、個別記録や活動記録等全職員で回覧して実施しています。
	6	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善につなげているか	○		平成30年度より毎年実施し、保護者の皆様からの評価の結果を職員間で共有し改善に努めています。行事等実施した際にアンケートにより保護者の意向を把握しています。
	7	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		平成30年度より実施。今までは子育て支援課のページに掲載していましたが、令和3年度よりよつばのホームページにて写真入りで掲載しています。
	8	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	第三者による外部評価は行っておりませんが、毎年業務内容を職員で評価、反省を行い業務改善につなげています。
	9	職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		事業所内研修については全員が参加できるように工夫して行っています。もう少し定期的な研修開催ができるように計画を見直したいと思っています。
適切な支援の提供	10	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		担任以外の職員からも情報を収集し、しっかり話し合いアセスメントに反映させています。また、保護者からの聞き取った内容を計画に反映し作成しています。
	11	子どもの適応行動の状況を把握するために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか		○	アセスメントツールについては今後も検討していく必要があると思います。
	12	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」、「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		毎年年度初めにガイドラインの内容を職員間で確認し、支援のねらいを共通認識し日々の支援に当たるようにしています。支援計画には具体的な支援内容を設定しています。
	13	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		一人一人に合わせた目標達成に向け、集団活動や個別活動を取り入れています。
	14	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		各クラス及び全体やチーム別での計画を立案し、実施しています。また、行事については行事担当を中心に行っています。
	15	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		季毎や毎月活動内容を検討し、お子さんに合わせて様々な活動を取り入れています。また、様々な体験ができるようにプログラムを計画しています。
	16	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		クラス別・発達に合わせたチーム別・全体の活動時間を別にそれぞれ週案の計画に設定して行っています。お子さんの得意、不得意、特性、発達状況に応じて計画を作成しています。
	17	支援開始前には職員間で必ず打合せをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		朝礼で各クラス及び個のねらい等確認して実施しています。職員間での連携と共通理解を大切にしています。
18	支援終了後には、職員間で必ず打合せをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		終礼でこどもの姿や支援の反省を行い、こどもの変化など確認しながら次の支援内容につなげるようにしています。	

	19	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○	毎日活動記録を作成し、終礼等で報告しあい、活動や支援の内容方法の改善に努めています。記録は必ず全員で共有しています。
	20	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○	基本年2回と必要があれば随時行って計画の見直しを行っています。モニタリングや面談の結果をもとに検討会で見直し話し合います。
関係機関や保護者との連携	21	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○	所長、副所長、児童発達支援管理責任者、クラス担任で参加しています。
	22	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○	保育課、福祉課、保健センター、学校教育課、幼稚園、保育園豊田市こども発達センター、親子通園ルームふたば等と連携して支援につなげています。健診事後教室(のびのび教室)や、親子通園ルームふたば、児童部会など参加し、関係機関との連携強化を図っています。
	23	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	/	対象のお子さんの利用はありません。
	24	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障がいのある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	/	対象のお子さんの利用はありません。
	25	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	移行児交流、移行後のフォローを行い書類等も作成し支援内容等の情報を共有して相互理解を図っています。
	26	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○	学校見学、ケース連絡を実施しています。また、幼保小連絡協議会に参加し相互理解を図っています。
	27	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○	尾張東部地区六市一町親子通園施設交流会、西三河地区施設長会、豊田市こども発達センター等の研修に参加し、情報収集しスキルの向上に取り組んでいます。
	28	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障がいのない子どもと活動する機会があるか	○	地域園交流や明知保育園の活動に参加し、交流を大切にしています。よつばの劇あそびを明知保育園の年長児が観客で参加してもらったり、明知保育園の行事に参加させてもらいました。また、戸外遊びの時間帯に一緒にあそびを楽しむなどの交流を行っています。
	29	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○	自立支援協議会児童部会、市内保育園園長会のメンバーになっています。
	30	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○	連絡帳や送迎時、個別療育日に直接話したり、電話で対応しています。引き続き保護者と共通理解を深められるように努めていきます。
保護者への協	31	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか	○	ペアレント・トレーニングについては進路講演会を今後も検討、計画していきたいと思えます。
	32	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○	入所説明会、継続児説明会にて行っています。
	33	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○	家庭訪問と年3回懇談会を実施し、お子さんと保護者の要望を確認し、長期、短期の目標、具体的な支援内容、支援期間や優先順位等を説明し同意を得ています。
	34	定期的に、保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○	年4回の個別懇談会や個別療育日、家庭訪問等、必要に応じて助言や支援を行っています。随時の相談等も受付で適切かつ必要な支援援助ができるようにしています。
	35	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	○	父母の会の活動としては、特にありません。個別療育や療育参加日の参加者の交流機会を作っています。今後実施方法を検討していきたいと思えます。

説明責任等	36	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○	その都度時間を調整し対応しています。苦情に関しては相談窓口を設けています。相談や申入れがあった場合は、迅速かつ適切に対応できるようにします。苦情解決第三者委員等その他の窓口もお知らせしています。
	37	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○	毎月よつばだよりを発行し、行事開催の保護者連絡文書は随時配布しています。送迎バス等に掲示も行っています。ファミリーデイに日頃のこどもたちの様子を写真でお知らせしています。
	38	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○	個人情報管理マニュアルを整備し、職員に周知しています。また契約時に個人情報の取り扱いについて説明しています。細心の注意をはらって取扱うようにしています。
	39	障がいのある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○	短い言葉でゆっくりと話したり、写真や絵カードなどを活用し一人一人の状況に合わせた対応に心がけています。
	40	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	○	地域の方の招待については今後の課題としていきたいと思えます。
非常時等の対応	41	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○	年度初めに職員間にて各マニュアルの確認を実施しています。避難訓練、不審者訓練等実施しています。保護者への周知については、年度初めに感染症マニュアル対応の健康観察のポイントについての文書を配布する等引き続き検討していきます。家族通所日に各マニュアルを見ていただけるように掲示しています。
	42	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○	毎月消火避難訓練・不審者訓練を実施しています。毎月の反省から職員の動きを確認し、様々な想定の下で訓練を行っています。
	43	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	○	保護者から与薬票を提出していただき、聞き取りを行って対応等を確認しています。
	44	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	○	アレルギー疾患生活管理指導書の提出を依頼し、医師の指示及び保護者からの聞き取りを行い対応しています。保護者からの聞き取りを職員間で共有し、朝礼時に必ず確認しホワイトボードでわかりやすくしています。使用する食器の色を変えるなどの工夫をし細心の注意をはらい対応しています。
	45	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	○	ヒヤリハットが起こった時には報告書を作成し職員間で検証し改善して取り組んでいます。職員会議で、情報共有し、事故が起こらないように留意しています。
	46	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	○	今年度7月に職員に向けた虐待研修を受け、その資料を基に、よつば内の職員全員を対象に日にちを分けて研修を開催しました。今後も改善を図りながら、研修を行っていきます。
	47	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか	○	生命の安全を守る等やむを得ない場合について、入所説明会にて説明を行っており、保護者に重要事項等の説明時に周知しています。実際に拘束する場面はありませんが、やむをえず支援上必要となる場合を想定し計画に記載しています。実際に行った場合は、保護者に説明し記録に記載して行きます。

○この児童発達支援自己評価表は、児童発達支援センター又は児童発達支援事業所の職員の方に、事業所の自己評価をしていただくものです。「はい」、「いいえ」のどちらかに「○」を記入するとともに、「工夫している点」、「課題や改善すべき点」等について記入してください。